

日刊

THE NIKKAN

工業

KOGYO SHIMBUN

新聞

11月25日 金曜日

2016年(平成28年)

第3種郵便物認可

不撓不屈

ぶとうふくつ

有効成分を抽出

生物資源研究所(沖縄県名護市)社長の根路銘国昭は11月に沖縄県内で開かれたある医学会で講演した。「特別講演」と銘打たれた壇上で発表したのは、沖縄に自生する樹木であるセンダンの、がん細胞への作用だった。

生物資源研究所

④

10年以上かけて研究を続けているセンダンを使った医薬品の開発はまだ

抗がん剤研究の夢を形に

道半ば。だが根路銘は研究を進めばなんとかなる。研究成果を今後論文として発表していくことが医薬品化に向けた決定打になると確信している。

一方、センダンの有効成分を抽出し、活用することには成功している。エキスを配合したドリンク「センダンα(アルファ)」を自社ブランドで発売。年間売上本数は約10万本に上る。また犬や猫の栄養補助食品としても製品化した。

ただ、目指すのはあくまで副作用のない抗がん剤開発。「前だけを向い

沖縄に製造・治療施設置く

惜しまない。根路銘が恩師への思いからがん研究を始めたように、根路銘も彼を慕う教え子に支えられている。

根路銘は研究者人生を振り返って「恵まれなかつた」と話す。米国留学も彼を慕う教え子に支え

探決に「あなたたちは政治家か科学者か」と強く問い、結果を逆転させた逸話もある。「『国産』の世界を透かし見る。ひっそりと研究し、そこから出てきた論文に世界は驚く」と力を込める。

思いやってきた「たらみがなく気を遣わずにやっこられた」と根路

めだ。穏やかな語り口か、ろは想像しにくい。数種の植物研究

が、反骨の研究者という側面も持つ。世間口は教会O)の会議では、不をイメージした。間口は合理的に米国になびく狭くとも、奥では思想と

センダンの抽出エキスを使った飲料「センタ」



(敬称略)

(この項おわり。那覇支局長・三苦能徳が担当しました)